

【令和5年度 授業改善推進プラン】

板橋区立北野小学校

【社会】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の学習内容に合わせ、校外学習をしているため、学校や家の周りのことについて興味をもって主体的に関わろうとしている姿が見られる。 ・基本的事項(都道府県・資料の読み方など)の定着が不十分な児童がいる。 ・覚えるべき用語が多いため、難しさを感じる児童が多い。 ・資料から気づいたことを書く活動は、少しずつできるようになってきている。 ・一度に記述できる量が少なく、短文で説明しようとするため、根拠を示したり、考えを述べたりすることが難しい。 ・写真や地図、文章などの資料から読み取る力が十分でない児童が多い。また、資料から読み取ることができても、それを活用したり、それをもとに自分の考えをもったり深めたりすることのできる児童は少ない。 ・知識を問う問題では、歴史的事象と歴史上の人物、関係している建造物などを総合的に捉え、関連付けて問題を解くことに対して苦手傾向がある。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活と授業の内容を照らし合わせ、実感の伴った授業ができるように指導することが課題である。・難しい用語を個別に教えていくのではなく、全体を俯瞰させ、つながりに目を向けさせていくことが重要である。 ・1人1人が問題意識を持った状態で学習を進めることが難しい。 ・魅力的な導入から児童の問いを引き出し、調べるという流れが十分に作り出せていない。 ・ねらいにせまるための資料を探し出すのがむずかしい。 ・用語を正しく使ったり、グラフなどの資料を正しく読み取ったり、インターネットを活用したりする技能を身に付けられるよう、学年に応じた指導を続ける。 ・授業内で学んだ知識を活用して問題を解く時間の確保が難しい。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な学習材料を活用したり、楽しみながら学習したりする経験を引き続き積み重ねる。学習を深める指導の工夫を行う。実際の生活と関連させながら学習できるよう、身近な地域教材を開発する。 ・板橋区内の様子について実地踏査をし、写真等の資料を作成し、現状にあった資料を準備する。また、資料の読み取り方や見方を指導する必要がある。 ・パワーポイントや動画を利用して資料を効果的に提示する。 ・表題を読み取りながら、文章やグラフ、写真についての読み取りを深めるよう指導する。学習課題にあった視聴覚教材を準備し、出前授業などを活用できると良い。 ・基本的事項を定着させる時間を設ける。 ・教科書から問題を見付けるために、主語、述語や指示語、資料が本文とどう関係があるかを読み解くことで、問題に自らせまる児童を育てる。